



《おすすめ新着図書のご紹介》

『小説みたいに楽しく読める』

栄養学講義』

中村 丁次(著)

何をどのくらい食べればいい？栄養価の高い食物って何？栄養素を摂り過ぎたり、足りないと体はどうなる？毎日の食にかかわる知識を基礎からわかりやすく解説。

【498.5/ナ】

『「早口ことば」で認知症予防』

福山 秀直/佐藤 正文(著)

自分を鍛える？ご両親に贈る？本を開いて、すぐに始める認知症予防。話し方が若くなる。口元が締まる。頭がはつきりする。脳機能研究の第一人者による解説！初心者向けから超・難問まで104個。

【493.7/フ】

『鈍牛の肥後狂句三昧』

野方 鈍牛(著)

著者の三十数年にわたる狂句人生から厳選した句のほか、狂句にまつわるエッセーを収録。人情の機微、世相風刺を得意とする熊本独自の短文芸「肥後狂句」を堪能できる一冊。

【911.4/ノ】

『いのちの楽園』

熊本サンクチュアリより』

佐和 みずえ(著)

熊本県の宇土半島の深い山あいにある熊本サンクチュアリは、チンパンジーの保護施設。実験動物の役目を終えたチンパンジーたちがたくさん暮らしている。これは、彼らの幸せを願う人びとの物語。

【489/サ】

『60歳から知っておくべき』

地政学』

高橋 洋一(著)

本書では、中国、ロシア、欧州、米国といった大国を地政学的に解説するのはもちろんのこと、インドをはじめとした経済成長著しい新興国、さらには日本でも昨今問題になっている移民政策についても解説。

【312.9/タ】

『結局、人生最後に残る』

趣味は何か』

林 望(著)

絵、詩、俳句、短歌、写真、能楽、書道、ギター、声楽、古書蒐集、散歩、旅、クルマ、料理…。あらゆる趣味の世界を究め尽くした、趣味人リンボウ先生の最終結論！人生にはなぜ趣味が必要なのか。真の意義と楽しみの極意について語り尽くす。【914.6/ハ】

『京都ものがたりの道』

彬子女王(著)

「京都」という街は、「道」から成る。日本美術研究者として活動する三笠宮家の彬子女王殿下が、京都の通り界隈にまつわる逸話から、神社仏閣の歴史、街歩きでの目のつけどころや楽しみどころ、京都人の気質までを生活者の視点から紹介する。

【291.6/ア】

『やなせたかしと小松暢の人生』

メディアソフト

日本中の子供達に愛されるヒーローを生み出した、やなせたかしと、彼の妻・小松暢の生涯を、豊富なビジュアルとともに紹介。4月からは、ふたりをモデルにした朝ドラ『あんぱん』も始まるなど、今一番知っておきたい人物の人生がこの一冊でわかる。

【726.1/ヤ】

【特集】2024年度年間図書貸出ランキング トップ10！



★1

『頭のいい人が話す前に 考えていること』

安達 裕哉(著)
プレゼンや会議、雑談などのコミュニケーションに役立つ。知性と信頼を同時に獲得する法則。



★2

『ブラック・ショーマンと 覚醒する女たち』

東野 圭吾(著)
謎に包まれたバーのマスターと、彼の華麗な魔術によって変貌を遂げていく女性たちの物語。

★3

『季節の保存食』

村上 祥子(著)
80歳の現役料理研究家、村上祥子さんが毎日食べている保存食の作り方

★4

『9割が間違っている 「たんぱく質」の摂り方』

金津 里佳(著)

★7

『こまどりたちが歌うなら』

寺地 はるな(著)

★5

『しんがりで寝ています』

三浦 しをん(著)

★8

『開業医の正体』

松永 正訓(著)

★6

『クリームイエローの海と 春キャベツのある家』

せやま 南天(著)

★9

『シヨローの女』

伊藤 比呂美(著)

★10

『笑う老人生活』

高嶋 弘之(著)



おすすめ絵本のご紹介



『もうじきたべられるぼく』 【E/ハ】

はせがわ ゆうじ(作)

「ぼくはうしだからもうじきたべられる」運命を受け入れたぼくが向かった先は…
そして、ぼくが下した決断は一。
号泣必至。食育にもおすすめの一冊。



《閉館日・休館日のお知らせ》

4月1・⑧・15・22・29日

5月⑤・6・13・20・27日

※5月5・6日は、連休となります

情報ライブラリーの閉館日は毎週火曜日です。

○印はパレア休館日です。

くまもと県民交流館パレア 情報ライブラリー



〒860-8554 熊本市中央区手取本町8番9号 テトリアくまもとビル9階
電話・FAX 096-355-4308

開館時間：午前9時～午後7時

閉館日：パレア休館日及び毎週火曜日

パレアホームページ <http://www.parea.pref.kumamoto.jp>